

# 完了後の評価個表

整理番号 7-1

事業名	森林居住環境整備事業	都道府県	福井県
地区名	わかさおにゆう 若狭遠敷	事業実施主体	福井県
関係市町村	おおい町(旧名田庄村)、小浜市	管理主体	おおい町、小浜市
事業実施期間	H14~H19(6年間)	完了後経過年数	5年

事業の概要・目的	<p>① 位置等 当地区は福井県の西南端に位置し、北は小浜湾(日本海)、南は滋賀県に隣接している。南は東西に走る一連の山岳地帯で、主要河川は北川が西流しているほか、南川が北東流しそれぞれ小浜湾に注ぎ込んでいる。北川および南川沿いは比較的広範囲に平地(小浜平野)が開けている。</p> <p>② 森林の状況 当地区の森林面積は1,574haで、うち人工林は859ha(55%)となっている。また、地区内の森林のうち、602haが水源かん養保安林に指定されており、森林の持つ公益的機能を高度に発揮させるための森林整備の実施が期待されている。</p> <p>③ 当地区を整備する目的・意義 当地区においてはこれまでに859haの人工林が造成され、森林蓄積は着実に増加しているものの、その多くは保育・除伐及び間伐等が必要な段階にある。しかしながら、担い手不足等の課題の解消は容易に進んでおらず、森林所有者等の森林整備に対する意欲の低下が懸念される中で、基幹となる林道等の路網が十分に整備されていなかったことから、森林整備の遅れが目立っていた。 このため、森林の公益的機能の高度発揮等を目的として、整備が必要な森林への到達時間の短縮、労働力や資材の効率的な移動等により林業労働の軽減及び森林施業コストの低減を図り、適切な森林整備を促進することを目的に林道を整備した。</p> <p>(事業概要) 森林基幹道開設 若狭遠敷線 車道幅員 4.00m 開設延長 4,045m 利用区域面積 1,574ha 総事業費 1,236,000千円(当初総事業費 1,010,000千円)</p>
----------	---

① 費用対効果分析の算定基礎となった要因の変化	<p>平成25年度時点における費用対効果分析の結果は以下のとおりである。 事業効果の早期発現のため、計画変更を行い重点投資したことと、森林整備に要する費用を計上したことにより総費用が増額となった。</p> <table border="0"> <tr> <td>総便益(B)</td> <td>2,233,522千円</td> <td>(事業採択時総便益</td> <td>2,129,750千円)</td> </tr> <tr> <td>総費用(C)</td> <td>1,967,838千円</td> <td>(事業採択時総費用</td> <td>887,821千円)</td> </tr> <tr> <td>分析結果(B/C)</td> <td>1.14</td> <td>(事業採択時分析結果</td> <td>2.40)</td> </tr> </table>	総便益(B)	2,233,522千円	(事業採択時総便益	2,129,750千円)	総費用(C)	1,967,838千円	(事業採択時総費用	887,821千円)	分析結果(B/C)	1.14	(事業採択時分析結果	2.40)
総便益(B)	2,233,522千円	(事業採択時総便益	2,129,750千円)										
総費用(C)	1,967,838千円	(事業採択時総費用	887,821千円)										
分析結果(B/C)	1.14	(事業採択時分析結果	2.40)										
② 事業効果の発現状況	<p>林道が開設されたことで、森林施業地までの到達時間や市場までの時間短縮が図られたことにより搬出コストが低減し、利用区域内における木材搬出量が250m<sup>3</sup>/年から1,100m<sup>3</sup>/年(4.4倍)に増加した。</p>												
③ 事業により整備された施設の管理状況	<p>林道は、小浜市、おおい町により適切に管理され、年数回の草刈、側溝清掃、路面の整正等が行われ良好な維持管理状況にある。</p>												
④ 事業実施による環境の変化	<p>林道が整備されたことで、森林施業地までの到達時間の短縮等により林業労働者の労働条件の改善や作業コストが低減され、搬出間伐が促進されるなど、森林所有者の森林経営に対する意欲が向上している。 なお、林道整備による野生動植物の生息・生育環境の悪化、渓流水の流量の減少などの影響は見受けられない。</p>												
⑤ 社会経済情勢の変化	<p>高性能林業機械の搬入や運搬車両の大型化が可能となり、労働強度の軽減や作業コストの低減が図られ、林業生産性が向上しつつある。</p>												

⑥ 今後の課題等	<p>森林施業の実施に対する意欲が徐々に改善されているが、木材価格の低迷等により間伐等の実施状況は未だ十分とは言えないことから、今後、林道、林業専用道、森林作業道等の路網の整備や施業の集約化および高性能林業機械の導入等により、効率的かつ低コストな施業を推進し、林業生産性を向上させる必要がある。</p> <p>また、事業により整備された施設については、引続き適切な維持管理を行っていく必要がある。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 地元の意見： 全体計画としては完了していないため、今後も引き続き整備を促進するとともに、必要な間伐等が積極的に行われるようさらなるPR活動をする必要がある。(福井県)</li></ul> <p>地域の森林施業も進み、また両市町を結ぶ骨格的な林道として全線開通の要望が強いため、事業の継続を強く要望する。(おおい町・小浜市)</p>
評価結果	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 必要性： 森林施業を効率的に行う基盤となる路網の整備が求められていることから、事業の必要性が認められる。</li><li>・ 効率性： 現地に応じた工種・工法で計画が作成されるとともに、事業実施にあたって波形線形の採用による切・盛土量の抑制等コスト縮減に努め、総事業費の縮減に努めていることから、効率性が認められる。</li><li>・ 有効性： 林道整備により森林へのアクセスが容易となり、作業効率が向上した結果、木材生産・森林整備が促進されていることから、今後も効果の発現が見込まれ、事業の有効性が認められる。</li></ul>

整理番号

7

## 便 益 集 計 表

(森林整備事業)

事業名: 森林居住環境整備事業

都道府県名: 福井県

わかさおにゆ

地域(地区)名: 若狭遠敷地区

(単位: 千円)

大 区 分	中 区 分	評 価 額	備 考
木材生産等便益	木材生産等経費縮減便益	53,708	
	木材生産確保・増進便益	866,930	
森林整備経費縮減等便益	造林作業経費縮減便益	17,791	
	森林管理等経費縮減便益	14,337	
	森林整備促進便益	1,280,756	
総 便 益 (B)		2,233,522	
総 費 用 (C)		1,967,838	
費用便益比	$B \div C = \frac{2,233,522}{1,967,838} = 1.14$		



森林居住環境整備事業 若狭遠敷地区(福井県)

若狭遠敷線



凡	例
県市町界	
区 域	
主要国道	
主要県道	
主要河川	
施工箇所	
	施 工 計 画